

社団法人 おおさき青年会議所

2012 年度 50 周年記念事業プロジェクト

記念誌編纂部会長 相澤 高史

基本方針

自分は何故青年会議所に所属し、JC 運動や JC 活動を行っているのだろうか。日々の業務の傍ら、時折このような原点とも言える想いが頭をよぎります。

入会動機は様々あるにせよ、会員一同のこのおおさき地域をより良いものにしたいという気持ちが社団法人おおさき青年会議所への原動力となっており、今日も各々が自らの役割を果たすべく、日々の JC 運動や JC 活動に邁進しております。

「青年会議所活動は、若さと情熱をもとに、自己のおかれている地歩を自覚し、ためらいのない、率直な活動の積み重ねをすることにこそ意義があり、地域社会をより豊かなものにするため、新たな年輪に、新たな芽を植え、育て、一步でもその目的に近づく活動の足跡を刻み込む努力をし続けなければならない」

これは、1973 年に発行された社団法人古川青年会議所 10 周年記念誌の冒頭、当時の森谷 勇一郎理事長がごあいさつで述べた一文です。社団法人おおさき青年会議所は、誕生から 50 年の月日が経とうとしていますが、これまで数々の諸先輩方が、ためらいなく、率直に各々の事業目的を達成すべく足跡を刻み続けた結果として、おおさき地域の発展に影響を与えた事業は数多く、その功績は非常に大きいものであります。そして、その功績はこれからこのおおさき地域をより良いものにしたいという想いを持った現役会員が、強く受け継いでいくべきものであると確信しております。

我々 50 周年記念事業プロジェクト記念誌編纂部会では、過去の資料を参照しながら、多方面の方々にご意見を頂戴し、これまでの功績や記録を資料にまとめて参ります。そして、50 周年記念にふさわしい構成内容を部会内で企画・立案し、反映させると共に、社団法人おおさき青年会議所の事業に関わる全ての皆様に対し、日頃からの感謝の意を表現した記念誌を編纂・発行すべく、活動して参ります。

一年間、ご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い致します。